

令和元年度公社等点検評価表

(一次点検評価・二次点検評価)

公社等名	福島県道路公社
所管部局	土木部
担当課	道路計画課

《評価資料》

1	公社等点検評価表	1
2	付表1 (概要)	6
3	付表2 (実施事業)	7
4	付表3 (経営状況)	8
5	付表4 (経営分析等)	9
6	付表5 (組織人員体制)	11
7	付表6 (県関与の状況)	12
8	別紙1 (県の財政的関与(支援)の内訳)	13
9	別紙2 (役員等の状況)	14

〔一次点検評価：公社等の自己点検〕

視点1：計画性（マネジメントサイクルの確立）

公社等経営の理念・目標・方針などが、各種計画等に反映され、事業の企画立案、実施、評価、改善が行われているかという、経営マネジメントサイクルの視点

1 マネジメントサイクルの確立

経営計画等の具体的な成果目標とこれまでの評価、事業目標とその実績（付表2）の評価

第4期中期経営計画3年次の平成30年度についても、基本理念である「安全で安心な有料道路等の提供」に基づき、適正な事業の執行に努めた。

また、有料道路や有料駐車場の利用促進による料金収入の増加を図るとともに、事務経費の節減等による経営の効率化にも継続して取り組んだ。

- (1) 有料道路事業については、基本理念に基づき福島県と連携して、福島空港道路の適切な維持管理に努めた。

また、利用の促進については、北関東圏や沿線地域で開催されたイベントへの参加や料金所ブースでのパンフレットの配付、利便性に係る広報活動を実施するとともにホームページによる近隣地域のイベント開催情報の提供などを行った。

さらに、平成29年度に引き続き、原発事故による避難者及び母子避難者等に対し帰宅、帰還を支援するため、通行料金の無料措置を実施した。

これらにより、福島空港道路の平成30年度の有料通行台数は、523,685台（平成29年度比103.7%）、通行料金収入は171,113千円（平成29年度比105.1%）と増加した。

この結果、第4期中期経営計画の平成30年度目標値（年間通行台数501,145台、料金収入159,364千円）に対する達成率は、年間通行台数で104.5%、料金収入で107.4%となり、目標を達成することができた。

- (2) 有料駐車場事業については、定期清掃等の実施により良好な駐車環境を確保するとともに、ホームページへの利用者募集の掲載や現地看板の更新などの利用促進対策を実施した。さらに、平跨線橋駐車場の駐車区画の見直しを行い、3区画（17区画→20区画）の増加を図ることができた。

これらにより、駐車料金収入は23,718千円（平成29年度比108.6%）となった。

また、第4期中期経営計画の目標値（稼働率95.0%、料金収入23,616千円）に対しては、稼働率は101.4%、料金収入は100.4%と目標を上回る結果となった。

- (3) 経営の効率化については、プロパー職員や県職員の退職職員を嘱託職員として再雇用することによる人件費の縮減を図るとともに、前年度に引き続き事務用品、印刷物等の経費の節減に努めた。

2 マネジメントサイクルにおける環境変化・住民ニーズの把握方法

- (1) 「第4期中期経営計画」2年次の平成29年度実績評価のための経営計画マネジメント委員会を開催（H30.7.13）した。

また、「第5期中期経営計画」（平成31年度（令和元年度）～令和3年度）の策定にあたり、平成31年3月8日に経営計画マネジメント委員会を開催し、民間有識者（公認会計士、中小企業診断士）である専門委員のアドバイスを受けた。

視点2：経済性・効率性

事業の収支バランスと採算性・収益性の視点

1 経営状況（付表3）及び経営分析等（付表4）についての評価

- (1) 平成30年度も前年度に引き続き、プロパー職員や県職員の退職職員を嘱託職員として再雇用することにより人件費の削減を図った。
また、事務経費についても事務用品や印刷物等の節減に取り組んだことにより、管理経費の削減をすることができた。
- (2) 平成30年度の事業収入については、福島空港道路の通行料金収入及び有料駐車場料金収入ともに増加し、195,012千円（平成29年度比105.6%）となった。
また、支出の人件費を除く管理費についても前年度を下回る15,320千円となった。
これらの取組の結果、当期収支差は前年度に引き続き、11,636千円の黒字となり、平成30年度末における固定負債の長期借入金は、65,172千円の減少となった。
今後も新たに策定した「第5期中期経営計画」に基づく、経営の効率化に向けた取り組みを職員ひとり一人が意識し、効率的な運営と事務経費の節減に努める。

2 サービス向上策の評価

- (1) 有料道路の利用促進については、ホームページへ近隣地域の観光情報やイベント情報を掲載し提供するとともに、料金所ブースにおいて回数券利用促進チラシや周辺観光チラシの配布を行った。
これらの取組による回数券購入等の増加や、「あぶくま高原道路」の全線開通による利用効果・利便性の浸透、さらに、市町村における除染土壌等の運搬のための大型車両の増加により、通行台数、通行料金収入ともに増加した。
また、料金收受員研修を継続して実施し、料金所窓口における利用者に対する接遇の向上に努めた。
- (2) 有料駐車場の利用面では、「荒町有料駐車場」の入・出庫のためのリモコンキーの受け渡し等の一部の管理事務を現地に近い「県庁消費組合」へ引き続き委託し、契約利用者の利便性の向上に努めた。
また、各駐車場の除草、清掃作業を定期的実施したほか、高架下を利用した駐車場2箇所については、鳩によるフン害防止のための防鳥ネットの修繕を実施するなどの利用環境の整備に努めた。

〔二次点検評価：左に対する所管部局としての評価〕

視点1：計画性（マネジメントサイクルの確立）

公社等経営の理念・目標・方針などが、各種計画等に反映され、事業の企画立案、実施、評価、改善が行われているかという、経営マネジメントサイクルの視点

1 マネジメントサイクルの確立

経営計画等の具体的な成果目標とこれまでの評価、事業目標とその実績（付表2）の評価

道路公社の事業は、道路整備特別措置法により設置された福島空港道路の有料道路事業をはじめ、有料駐車場事業及び福島県管理道路のあぶくま高原道路における管理受託事業を行っており、それぞれ設立の目的に合致又は補完するものである。本事業は、住民福祉の増進と地域経済の発展に寄与するものであり、公益事業にふさわしいものである。

有料道路事業の通行台数、料金収入について、前年度より増加し第4期中期経営計画上の通行目標値を上回っているものの、事業許可計画の通行台数、料金収入に対しては、大幅に下回っており収支差損が発生していることから、引き続き通行台数の増加に努め、収支の改善を図る必要がある。

2 マネジメントサイクルにおける環境変化・住民ニーズの把握方法

民間有識者（公認会計士、中小企業診断士）からアドバイスを受け策定した第4期中期経営計画（平成28年度～平成30年度）により、有料道路の安全・安心の確保、経営の安定化に向けた計画を定めている。

また、第5期中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の策定にあたっては有識者からアドバイスを受けて計画を定めている。

視点2：経済性・効率性

事業の収支バランスと採算性・収益性の視点

1 経営状況（付表3）及び経営分析等（付表4）についての評価

経営規模の縮小化に合わせた人件費の削減や事務経費に係る契約の見直し等によりコスト削減を図ったことが評価できる。

2 サービス向上策の評価

有料道路近隣の地域イベント開催情報をホームページで発信したり、回数券利用促進の看板を設置するなど、道路利用者へ有料道路の利便性を高める情報発信を積極的に行っていた点が評価できる。

また、料金所に配置する料金収受員へ接遇研修を実施しており、道路利用者に対してのサービス向上に努めた点が評価できる。

さらに有料駐車場事業の荒町有料駐車場について、本社移転に伴い遠方での営業となっていることから、管理事務の一部を委託することによって、契約者への利便を図っている点や鳩によるフン害防止のため防鳥ネットを修繕している点が評価できる。

3 県からの財政的関与に関する自己点検

福島空港道路の通行台数は、全線開通による効果や利便性の浸透により増えてきているものの、事業認可時の通行台数を下回っているため、PR活動による利用促進を図るとともに、コスト削減に引き続き努め、経営状況の改善を図るよう指導しているところである。

〔一次点検評価：公社等の自己点検〕

視点3：課題への対応状況

共通課題1：東日本大震災からの復旧状況 原子力発電所事故に伴う損失・損害賠償請求の状況

平成30年度についても、原子力発電所事故に伴う損失が生じていないので、損害賠償請求は行っていない。

「福島空港道路」については、県による原発事故の支援策として、原発事故による避難者及び母子避難者等に対し、帰宅・帰還を支援するため、平成29年度に引き続き無料措置を実施した。

個別課題：

1 平成29年度（昨年度）の点検評価における個別課題の対応状況

- 平成30年度に新たに策定する「第5期中期経営計画（令和元年度～令和3年度）」に基づく取組を確実に実施することが求められる。
- 福島空港道路については、通行台数は増加傾向にあるものの、事業許可計画における通行台数が大幅に少ないため収支差損が発生しており、更なるPR活動等により利用促進を図るとともに、コスト削減に努め、収支の改善を図っていく必要がある。

上記の対応状況

「第4期中期経営計画」最終年次の平成30年度の実績評価については、令和元年7月22日開催（予定）の経営計画マネジメント委員会において審議予定としているが、有料道路事業、有料駐車場事業とも計画目標値を達成しており、収支の改善が図られた状況となっている。

引き続き、平成31年3月に開催した経営計画マネジメント委員会において決定された、令和元年度を初年度とする「第5期中期経営計画」（令和元年度～令和3年度）に基づく取組を着実に実施し、経営の効率化に努める。

2 当公社の課題

福島空港道路については、平成13年3月の供用開始から18年が経過し、道路施設、設備の老朽化や通行台数の増加に伴う道路施設等の損傷も懸念されることから、適切な更新、改修等を進め、通行の安全を確保し、利用者が安心して通行できる道路環境を提供することが求められる。

〔二次点検評価：左に対する所管部局としての評価〕

視点 3 : 課題への対応状況

**共通課題 1 : 東日本大震災からの復旧状況
原子力発電所事故に伴う損失・損害賠償請求の状況**

有料道路事業で実施した原発事故避難者及び母子避難者等に対する無料措置について、道路公社が避難者等の支援のため企業努力的に実施したこと、料金収受員への適正な指導により、書面確認による渋滞が発生せず、円滑に無料措置が行われていたことが評価できる。

今後も国土交通省が行っている高速道路の無料化措置の動向に合わせた対応が必要となる。

個別課題 :

第5期中期経営計画（令和元年度～令和3年度）に基づく経営方針により、経営の効率化を図るとともに福島空港道路の利用促進、利用者の安全・安心の確保などの施策を着実に実施していく必要がある。

付表1: 公社概要

公社等の名称	福島県道路公社					
設立根拠法令	地方道路公社法					
設立年月日	昭和46年6月1日					
代表者職氏名	理事長 島 俊秀					
事務所の所在地	西白河郡矢吹町下宮崎166番地					
ホームページアドレス	http://www.dorokosha-fukushima.or.jp					
県所管部・課	土木部 道路計画課					
設立目的	福島県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。					
経営理念・目標等	有料道路や有料駐車場の管理・運営を計画的かつ適切に行うことにより、交通の円滑化を図るとともに、基本理念である「安全で安心な有料道路等の提供」に基づき、安全・安心・快適な道路環境の確保と、サービスの提供に努め、地域住民の福祉の向上と、地域産業の発展に寄与する。また、有料道路や有料駐車場の利用促進を積極的に推進することにより、料金収入の増加を図るとともに、組織の効率的な運営と事務経費の節減等に努め、公社経営の効率化を図る。					
資本金・基本金 (単位:千円)	22末	27末	28末	29末	30末	31末予定
	1,315,000	790,000	790,000	790,000	790,000	790,000
県出資額 (構成比)	1,315,000	790,000	790,000	790,000	790,000	790,000
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
30年度末出資等内訳 (単位:千円) ※県分を除く。	出資順位	団体名			出資額	構成比
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
主な事業内容 (詳細:付表2)	<p>県内の有料道路の建設管理を主な事業とし、現在、1路線(福島空港道路「高規格道路」)の維持管理・運営を行っている。</p> <p>その他、あづま陸橋有料駐車場等6カ所の月極駐車場を運営している。</p>					

付表2:実施事業

1	事業名	有料道路事業					継続事業	公益事業
	事業内容	県内1路線の有料道路の維持管理						
	目標	福島空港道路は許可計画に対して大幅に通行台数が少ないため、通行台数の増加及び収支の改善を図る。						
	事業実績	平成30年度 通行台数合計 576,305台 (無料通行台数 52,620台を含む。) (30/29 103.7%) 平成29年度 通行台数合計 555,706台 (無料通行台数 50,805台を含む。)						
	事業費	22決算	27決算	28決算	29決算	30決算	29/22	30/22
(単位:千円)	916,155	399,109	407,980	420,332	419,770	45.9%	45.8%	
2	事業名	有料駐車場事業					継続事業	公益事業
	事業内容	県内6有料駐車場(月極)の維持管理運営						
	目標	県有財産の保全活用と都市機能の向上のため、有料駐車場の利用促進を図る。						
	事業実績	平成30年度 契約駐車台数合計 258台 (30/29 107.9%) 平成29年度 契約駐車台数合計 239台						
	事業費	22決算	27決算	28決算	29決算	30決算	29/22	30/22
(単位:千円)	40,912	23,713	22,639	21,586	23,438	52.8%	57.3%	
3	事業名	あぶくま高原道路管理事業					継続事業	公益事業
	事業内容	福島県からの委託に基づき、あぶくま高原道路の維持管理 平成13年3月より受託開始(福島空港道路供用開始と同時)						
	目標	高規格自動車専用道路として、常に安定した交通の確保を図る。						
	事業実績	平成30年度 維持管理受託業務(L=8.6km) (30/29 100.0%) 平成29年度 維持管理受託業務(L=8.6km)						
	事業費	22決算	27決算	28決算	29決算	30決算	29/22	30/22
(単位:千円)	144,256	138,540	144,532	158,461	153,425	109.8%	106.4%	

付表3:経営状況

区 分		22決算	27決算	28決算	29決算	30決算	29/22	30/22
収支の状況	① 収入	6,485,943	4,162,898	3,523,657	2,933,406	2,385,373	45%	37%
	当期収入合計	6,442,938	4,149,748	3,507,900	2,919,220	2,375,675	45%	37%
	うち基本財産運用収入	4,458	173	133	132	132	3%	3%
	うち事業収入	472,750	175,247	179,417	184,690	195,012	39%	41%
	うち補助金等	872,095	463,421	466,164	435,061	408,194	50%	47%
	うち借入金	5,092,994	3,510,422	2,861,820	2,298,851	1,772,256	45%	35%
	うち特定預金取崩	641	485	366	486	81	76%	13%
	前期繰越収支差額 ^{※1}	43,005	13,150	15,757	14,186	9,698	33%	23%
	② 支出	6,443,264	4,146,869	3,509,171	2,923,437	2,373,737	45%	37%
	うち人件費総額	163,916	45,402	37,565	37,816	33,782	23%	21%
うち人件費総額管理費(除人件費)	33,497	17,994	14,397	15,507	15,320	46%	46%	
うち事業費(除人件費)	6,245,851	4,083,473	3,457,209	2,870,114	2,324,635	46%	37%	
③ 当期収支差額 ^{※2}	42,679	16,029	14,486	9,969	11,636	23%	27%	
④ 次期繰越収支差額 ^{※1}	38,565	15,757	14,186	9,698	11,336	25%	29%	
財産の状況	① 資産	9,775,865	2,530,419	2,486,030	2,475,406	2,448,046	25%	25%
	流動資産	1,201,414	316,555	283,006	280,118	260,780	23%	22%
	固定資産	8,574,451	2,213,864	2,203,024	2,195,288	2,187,266	26%	26%
	② 負債	10,639,202	4,204,656	3,819,966	3,496,875	3,171,691	33%	30%
	流動負債	2,508,305	1,749,225	1,396,051	1,145,331	869,475	46%	35%
	うち借入金	2,349,262	1,674,583	1,353,460	1,077,460	822,880	46%	35%
	固定負債	8,130,897	2,455,431	2,423,915	2,351,544	2,302,216	29%	28%
	うち借入金	4,021,306	2,309,222	2,263,451	2,199,962	2,134,790	55%	53%
	③ 正味財産	△ 863,337	△ 1,674,237	△ 1,333,936	△ 1,021,469	△ 723,645	118%	84%
うち当期増減額	390,822	△ 810,900	340,301	312,467	297,824	80%	76%	

《公益法人会計移行後、収支計算書を作成していない公社等》

※1「繰越収支差額」には、貸借対照表の「流動資産－流動負債(引当金除く)」を記載する

※2「当期収支差額」には、正味財産増減計算書の当期経常増減額を記載する

付表4:経営分析

区 分	22決算	27決算	28決算	29決算	30決算	29/22	30/22
①公益事業比率	100	100	100	100	100	100%	100%
支出額計	6,443,264	4,146,869	3,509,171	2,523,437	2,373,737	39%	37%
公益事業支出額	6,443,264	4,146,869	3,509,171	2,523,437	2,373,737	39%	37%
収益事業支出額						-	-
②直営事業比率	42.5	30.6	26.9	25.7	23.5	60%	55%
支出額計	459,196	138,540	144,532	158,461	153,425	35%	33%
直営事業支出額	195,338	42,342	38,923	40,651	36,013	21%	18%
再委託事業支出額	263,858	96,198	105,609	117,810	117,412	45%	44%
③自主事業比率 (自主事業/支出額計)	92.9	96.7	95.9	94.6	93.5	102%	101%
④施設等利用人数 (行政客体)	556,163 <small>(年間総通行台数)</small>	526,926 <small>(年間総通行台数)</small>	538,719 <small>(年間総通行台数)</small>	555,706 <small>(年間総通行台数)</small>	576,305 <small>(年間総通行台数)</small>	100%	104%
⑤施設等稼働率	101.4	102.4	102.2	103.2	103.7	102%	102%
⑥補助金等依存率 (補助金額/当期収入合計)	13.4	11.1	13.3	14.9	17.2	111%	128%
⑦流動比率 (流動資産/流動負債)	47.9	18.1	20.3	24.5	30	51%	63%
⑧管理費比率 (管理費/支出額計)	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	100%	120%
⑨人件費比率 (人件費/支出額計)	2.5	1.1	1.1	1.3	1.4	52%	56%
⑩借入金依存率 (借入金/資産)	65.2	157.4	145.5	132.4	120.8	203%	185%
⑪一人当たりの人件費 (人件費/総職員)	6,304	7,567	6,261	6,303	5,630	100%	89%
⑫一人当たりの事業収入 (事業収入/総職員)	51,724	106,445	107,597	103,292	100,534	200%	194%
⑬補助金等に含まれる人件費比率 (人件費/補助金等)	11.0	4.7	3.6	4.0	3.5	36%	32%
⑭事業収入に含まれる人件費比率 (人件費/事業収入)	14.5	13.5	11.7	11.1	10	77%	69%

⑮長期借入金の状況(30年度決算の内訳)			(単位:千円)
借入先	金額	目 的	返済予定
	利率		
政府貸付金	76,400 ----- 無利子	有料道路の建設資金	償還計画による (H31年度完済)
地方公共団体金融機構	25,020 ----- 1.7	有料道路の建設資金	償還計画による (H31年度完済)
福島県貸付金	2,033,371 ----- 無利子	収支差借入金	償還金が生じた場 合一部償還及び 無料開放時

付表5:組織人員体制

1 役職員の状況

(単位:人)

区分		22末	27末	28末	29末	30末	31(4/1)	30/22	31/22
役員 (監事含む)	常勤役員	2	1	1	1	1	1	50%	50%
	プロパー							-	-
	民間							-	-
	県OB	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	県現職派遣	1						-	-
	その他							-	-
	非常勤役員	3	3	3	3	3	3	100%	100%
	民間	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	県OB							-	-
	県現職	2	2	2	2	2	2	100%	100%
	その他							-	-
	合計	5	4	4	4	4	4	80%	80%
職員	常勤職員	16	4	4	4	4	4	25%	25%
	プロパー	4	2	1	1	0	0	-	-
	民間							-	-
	県OB		1	2	2	2	2	-	-
	県現職派遣	12	1	0	0	0	0	-	-
	その他			1	1	2	2	-	-
	非常勤職員	10	2	2	2	2	2	20%	20%
	嘱託員	3	1	1	1	1	1	33%	33%
	臨時職員	6	1	1	1	1	1	17%	17%
	人材派遣	0	0	0	0	0	0	-	-
	その他	1	0	0	0	0	0	-	-
	合計	26	6	6	6	6	6	23%	23%

2 職員の年齢構成(令和元年7月1日現在)

(単位:人)

区分		~30歳	31~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56~60	61~
管理職員	プロパー								
	民間								
	県OB								
	県現職派遣								
	その他								1
	合計	0	0	0	0	0	0	0	1
一般職員	プロパー								
	民間								
	県OB								2
	県現職派遣								
	その他								1
	合計	0	0	0	0	0	0	0	3
総計	0	0	0	0	0	0	0	4	

付表6: 県の関与状況

区 分		22決算	27決算	28決算	29決算	30決算	31当初	30/22	31/22
財政的関与	①補助金等	872,095	463,421	466,164	435,061	408,194	326,871	47%	37%
	補助金		0	0	0			-	-
	負担金	412,899	324,881	321,632	276,600	254,769	166,156	62%	40%
	交付金							-	-
	委託料	459,196	138,540	144,532	158,461	153,425	160,715	33%	35%
	指定管理料							-	-
	②貸付金	2,743,732	1,835,839	1,508,361	1,221,392	949,377	686,880	35%	25%
③損失補償額(契約額)							-	-	
④債務保証額(契約額)	2,349,263	1,674,583	1,353,460	1,077,460	822,880	814,086	35%	35%	
人的関与	⑤役員就任(監事を除く)	3	2	2	2	2	2	67%	67%
	常勤役員	2	1	1	1	1	1	50%	50%
	県OB	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	県現職派遣	1						-	-
	上記以外の職員							-	-
	非常勤職員	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	三役							-	-
	部局長	1						-	-
	県OB							-	-
	上記以外の職員		1	1	1	1	1	-	-
	⑥監事就任	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	三役							-	-
	部局長							-	-
	上記以外の職員	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	⑦評議員就任	0	0	0	0	0	0	-	-
部局長							-	-	
上記以外の職員							-	-	
⑧職員派遣	12	1	0	0	0	0	-	-	
管理職員	3	0	0	0	0	0	-	-	
一般職員	9	1	0	0	0	0	-	-	

別紙1

区分	名 称	30決算額
	補助等の目的	(単位:千円)
負担金	福島県負担金	158,608
	那須甲子有料道路無料開放負担金	
	福島県負担金	96,161
	プール制道路無料開放負担金	
	補助金額合計	254,769
委託料	あぶくま高原道路県管理委託料	153,425
	あぶくま高原道路の維持管理委託料	
	委託料額合計	153,425
貸付金	福島県貸付金	30,000
	有料道路事業の円滑化を図るための短期借入	
	福島県貸付金	96,497
	福島空港道路の収支差借入金	
	福島県貸付金	822,880
	プール制道路の無料開放に伴う貸付金	
貸付金額合計	949,377	
債務保証額	借入資金の融資に関する債務保証	822,880
	プール制道路の無料開放に伴う短期借入金のため	
	債務保証額合計	822,880

別紙2

役員の状況

(令和元年6月末現在)

区分	定数	氏名	常勤・非常勤の別	職名	当初就任日
					現任期満了日
理事長	1	島 俊秀	常勤	元福島県会津若松建設事務所長	H30.4.1 R4.3.31
副理事長					
専務理事					
常務理事					
理事	1	和田 眞	非常勤	福島県土木部 次長(道路担当)	H31.4.1 R2.3.31
監事	1	伊藤 吉治	非常勤	公認会計士	R1.6.1 R5.5.31
	1	岡崎 拓哉	非常勤	福島県土木部 政策監	R1.6.1 R5.5.31